



平成27年 2月26日
第五管区海上保安本部

海洋調査を行う本庁所属 測量船「海洋」が 神戸港に入港します

和歌山、四国沖の南海トラフ付近で「海底地殻変動観測」を実施中の測量船「海洋」が神戸港に入港します。

測量船「海洋」について

- 竣工： 平成5年10月
- 大きさ： 総トン数 550トン、 全長 60.0m
- 主要観測機器：
複合測位装置、 マルチビーム測深機、
XBT(投下式水温水深計)、ADCP(超音波流速計)、
海底地殻変動観測装置
- 主な業務：
 - ・海底地殻変動観測(南海トラフ、日本海溝)
 - ・日本近海の海洋汚染調査、海流観測
 - ・沿岸部の水路測量、海底搜索



測量船「海洋」

そのほか、平成23年の東日本大震災に際しては、緊急物資を輸送する船舶を安全に入港させるため、海底の障害物調査に従事し、震災後、初の支援船を仙台塩釜港に入港させることに寄与しました。

また、20年前、平成7年の阪神淡路大震災でも、発災直後の1月20日から神戸港内の障害物調査を実施したほか、神戸沖、明石海峡、淡路島周辺において海底地形と海底活断層の調査に従事しました。